

京都部部報

3号/2020-2021度版 BULLETIN



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION 9

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

JAPAN WEST

京都部部長主題	「人生は一度きり」～出会いから全てが始まる～	京都部部長 中村隆司 (京都ウェル)
西日本区理事主題 副題	「“Let's do it now!”」 「2022に向け誇りを持って “All is well”」	西日本区理事 古田裕和 (京都トゥービー)
国際会長主題 スローガン	“VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP” 「価値観、エクステンション、リーダーシップ」 “TRUST IN THE RIVER OF LIFE.” 「命の川を信じよう」	国際会長 (IP) Jacob Kristensen (デンマーク)
アジア太平洋国際地域会長 主題: スローガン	“Make A Difference” 「変化をもたらそう」 “INSPIRE” 「奮い立たせよう」	アジア太平洋地域会長 (AP) David Lua (シンガポール)

期末のご挨拶

京都部部長 中村 隆司 (京都ウェルワイズメンズクラブ)

各クラブ会長の皆様、メンバーの皆様、日頃からワイズ活動にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。早々と梅雨入り宣言が出されたにも関わらず、あまり雨も降らないまま暑さだけが毎日に増しておりますが、如何お過ごしでしょうか。

さて先日無事に西日本区大会を開催して頂き、残すところは部としては評議会、皆様は引継例会だけとなり、少し終わった感が漂いホッとしておられるのではないのでしょうか。と言っても早速新しい期がスタートしますのでゆっくりはしていただけないですね…。ただ皆様にとっても、そして京都部にとっても今期は本当に大変な一年でありました。準備期間も含め、まさしくコロナに始まりコロナで終わり、例会の開催もままならず、また周年例会の開催や延期でもご苦労され、クラブ内外での親睦交流にも影響が出てしまい、思っていた事業を計画通りに進める事が出来ずに悔しい思いをされた事でしょう。しかしそのようなコロナ禍の中でもアイデアを出し、知恵を絞り、今できる事を積極的に行って頂き、Yサ事業ではリトセン、サバエのワークを初め、オータムフェスタ、オンラインチャリティーラン、そして京都部チャリティーゴルフやYYYフォーラムの動画の作成にご協力頂き、地域奉仕環境事業では京都！綺麗やわああ大作戦にご尽力頂き、EMC事業でも順調に新メンバーを獲得して頂き、国際交流事業でも切手収集やオンライン交流を積極的に開催して頂き、またメネット事業では献金にご協力頂き、本当に感謝申し上げます。そしてPR委員会としまして、部全体の動きが少なくなかなか広報活動が出来ませんでした、規約改正を実施させて頂く事が出来ました。バナー広告にもご協力頂き有難う御座いました。

本当に我慢我慢の一年間ではありましたが、このように何とか無事に一年を終えさせて頂けるのも皆様にお力添えを頂いたからであり、言葉に表す事が出来ない位の感謝の気持ちでいっぱいです。

この素晴らしい仲間と一緒に活動させて頂けた事を幸せに、そして誇りに思います。メンバーの皆様本当に一年間有難う御座いました、そして京都部三役役員の皆様、ご迷惑を掛けっぱなしの一年間になってしまい本当に申し訳御座いませんでした。

最後になりますが、期末にドロップがあまりおられない事を願い、今期主だった事業が出来なかった悔しさを胸に秘め、また楽しくなければワイズじゃないの精神を忘れずに、そして皆様から頂いたお気持ちに甘えさせて頂き、次期もう一年ハリキッテ部長を務めさせて頂きますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。同じくもう一年お付き合い頂ける三役役員の皆様、どうぞ宜しくお願い致します。神様、どうか一日も早くコロナが終息しますようお願い致します！



■今期を終えて 部役員



直前部長 島田 博司
京都ウエストワイズメンズクラブ

今現在も平時のような満足な事業が各クラブできないとは1年前に想像がつかなかった。誰もがそう思っているのではないのでしょうか？この1年、私たちを取り巻く環境がごろっと変わり、さまざまな規制がなされ、これほどまでに思うような活動ができなかったことはなかったのではないのでしょうか。中村期役員の皆さんを1年間そばで見てきて、リアルに集まることさえ自由にできなかった役員さんの気持ちを考えると、私自身歯がゆい気持ちでいっぱいです。しかしこの環境下でも精一杯出来ることをされてきた中村部長をはじめ、三役・役員さんには敬意を表したいと思います。この1年で役員職を終えられる方、本当にご苦労様でした。1年にわたり経験されたことを是非これからのクラブライフに活かさせていただきたいと思います。もう1年役員を続けられる方はこの1年の経験を活かして、さらに次期にも今以上の成果を成し遂げられること、願っています。私自身も来期は最後の京都部役員となりますが、次期の皆さんとともに精一杯頑張りたいと思います。



監事 川上 孝司
京都パレスワイズメンズクラブ

「コロナ禍」「緊急事態宣言」今まで体験したことのない事態の中、京都部中村部長期は終えようとしています。京都部役員、各会長ともやるせない思いを持ちながら必死でワイズ活動の灯を大きく輝かそうと取り組んだ1年でした。その中で見えてきたのはどんな時も力を合わせ励ましあい、奉仕の灯を消すまいと頑張り続ける姿であります。小堀理論にもあります奉仕団体の活動の原点は、物事を起こす前の準備と意義を十分話し合い論議することであり、行動はその後についてくるものであります。たとえ何らかの支障により行動が出来なくても、その前に行われた話し合い、意思統一自体が奉仕クラブにおいて大きな力となります。まだまだ続くと思われるコロナ禍、今こそ各クラブが気持ちを一つにし、京都部との連携、また西日本区、国際の動きを見据えながらこの試練を乗り越えなくてはなりません。改めて京都部の皆様一年間本当にお疲れ様でした。これからも共に頑張りましょう。中村部長、キャビネットの皆様お世話になりました。



統括担当主事 藤尾 実
京都 YMCA

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、ワイズメンズクラブの活動も通常の活動を当初の予定通りおこなうことが困難になりました。そのような中でもサバエ教育キャンプ場・リトリートセンターの維持管理ワークやリトリートセンターオータムフェスタ運営、京都YMCA活動継続寄付金など、京都YMCAの諸活動に多大なご支援をいただき感謝申し上げます。

また、YMCA サービス事業以外でも、CS 献金を「YMCA 子ども・ユース・地域支援ポジティブネット募金」に、メネット献金を、「YMCA 子どもキャンプ事業」に、それぞれ寄付いただくなど、YMCA の活動をワイズメンズクラブ各クラブのみなさまが、いつも担っていただいております。

2021年度より京都YMCAの中期計画（3か年計画）が進められることになっています。

そこではYMCAが「地域から必要とされる存在」になるために事業変革を進めてまいります。今後とも、ワイズメンズクラブのみなさまのご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

■ 今期を終えて 部役員



書記 今村 隆宏
京都ウイングワイズメンズクラブ

今期京都部書記としてお世話になりました。もう聞き飽きたと思いますが、コロナ禍という言葉。緊急事態宣言、蔓延防止措置（マンポー）など、本当に悩まされた一年。様々な業種の方々がおられる中で、ワイズ活動においても神経を使いながら過ごされた一年ではなかったでしょうか。部の三役会、役員会なども三条YMCAで開催できたと思えば、またZOOM開催になるなどの繰り返しで、目に見えないウイルス感染症の怖さを痛感致しました。京都部の事業としても様々な事業が中止となりました。各クラブにおいても通常例会は工夫しながらも、記念例会においては規模を縮小しながらの開催、また仕方なく延期を決断されました。リアルに交流が出来ない今、人との繋がりを保つことは難しいと思います。その中で退会者を出さない！メンバー増強！！を達成されたクラブは本当に素晴らしいと思います。交流こそワイズ！！だと思っている私は次期にもう一度チャンスを頂きましたので、今期やり残した事を思いっきり発揮したいと思います。今期の各クラブ会長様、落ち着いたら一杯やりましょう。



書記 松田 博一
京都ウェルワイズメンズクラブ

皆様こんにちは。今期、京都部書記を拝命しております、京都ウェルクラブの松田と申します。今期はコロナ禍の中、様々な会議がWeb開催となりましたが、一年を振り返ると、何とか乗り切れたのではないかと感じております。皆様には、いつもお世話になり、大変感謝しております。ただ、京都部会やYMCAの行事が続けさまに中止となり、皆さんとお出合いする機会が極端に減ったことは、ワイズ活動を続けている中で、最も残念なことであったように思います。かといって、行事を強行するのは大変愚かなことです。そのことは、現在の日本が置かれている状況を見れば、一目瞭然のことで。ひっ迫した医療現場で昼夜を問わず、まさに戦っているという言葉でしか表現できない状況の医師や看護師の方が多くおられる一方で、休日や夜間の人出はあまり減らず、感染の拡大も留まるところを知りません。大きな矛盾を抱えているのです。多くの方が健康被害にあわれています。この後も、さほど状況が良くなるとは思えません。しかし、必ず乗り越えられることを信じて、コロナに負けない知恵を持ち、まず私たちが人のお世話にならないように気を付けながら、少しでも社会に役立つ活動を行いたいものです。本当に1年間有り難うございました。



会計 蒔田 茂夫
京都プリンスワイズメンズクラブ

第25期京都部会計を務めさせて頂きました蒔田茂夫です。コロナ禍での今期がスタートしてあっという間に一年が過ぎようとしています。正直なところ期首当時は半年後にはコロナウイルス感染拡大の事態も終息していると思っていました。しかし今現在も京都府では緊急事態措置は解除されておらず今後の先行きは不透明です。部会やワイズデー、各々の事業など楽しみにしていた事が中止や延期、計画変更となったことは非常に残念で悔しい気持ちでいっぱいです。しかしこのような状況下でも協力し知恵を出し合い前を向いて考え進むワイズメンズクラブメンバーにたくさんの勇気をいただきました。わたしの任期も後少しですが、中村部長をはじめ京都部役員の皆様、事業主査の皆様、各クラブ会長様にはいろいろな事を勉強させていただき、たくさんの刺激を頂戴しました。一年間お世話になり本当にありがとうございました。

■今期を終えて 部役員



事務局長 西村 和真
京都洛中ワイズメンズクラブ

今期一年間皆様ありがとうございました。

期の始まる前、一昨年12月に今期初めての懇親会を開催させていただいた日を振り返ると、1年半後の現在を全く想像出来ていませんでした。毎期のことですが、ワイズメンズクラブを通して新しい交流をすることが、最大のやりがいであり、楽しみにしていたことを思い出します。

コロナ禍が、私たちにあたえた試練そして未来を考える時間、それはつらいものでもあり歯がゆい思いを何度もしたと思います。そして、この時間はまだまだ続くかもしれません。しかし、今期もそうでしたが、次期においても、その時出来ることを皆で考え最善を模索し続けます。そう言える自分が、今いるのもこの一年間皆様の支えがあってこそです。本当にありがとうございました。



■今期を終えて 事業主査



主題 「まずは、参加!!」
YMC Aへの支援が喜びとなる日

YMCA サービス・ユース事業主査

幡南 進

京都キャピタルワイズメンズクラブ

1年間ありがとうございました。

昨年の準備期間よりコロナ感染が拡大し、今期間中は終始感染拡大の様子を見ながらという活動となりました。その中でも、リトセンの準備ワーク2回、サバエの維持管理ワーク2回、リトセンオートムフェスタの開催協力も出来ました。多くの事業が中止になる中でも皆様の考えの中から様々な試み

も有りました。チャリティランのバーチャル開催から、延期となっていましたYサ・ユース事業懇談会のWEBでの開催。チャリティゴルフも工夫をして2回開催でき、悪い事ばかりではなくこれからを見据えた大きな工夫をもたらした一年間では無かったでしょうか。実際に準備委員会を立ち上げて直前まで開催の様子をうかがっていたさくらフェスタも、チャリティランも次期へ思いを込めて引き継ぐばかりです。今期主題の「先ずは参加」を残念ながら全事業開催に至らず参加が出来ませんでした。なんとか代わりになる

事業を。少しでもYMC Aと係わりが持てるようにと、気持ちばかり焦る1年間とはなりましたが、大きな事故も無く、クラスターも無く関係者皆様が、健康でこの一年間を過ごされました事が何よりだと思います。

皆様が今後とも健康であることが第一で、その次には是非YMC Aの支援にご参加ください。きっと自身の考え方や周りへの接し方が変わり、何事にも喜びと感じられるようになると信じています。

最後に、今期1年間ご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



■今期を終えて 事業主査



主
題

地域奉仕・環境事業から “今”出来る事をひとつひとつ

地域奉仕・環境事業主査
的場 幸生

京都トップスワイズメンズクラブ

皆様、今期1年間いろいろとご協力いただき、お世話になりありがとうございました。新型コロナウイルスの影響で上半期だけでなく年間通して翻弄された1年だったと思います。本当に難しい1年で自分自身の力不足を思い知らされました。ですが、京都部の皆様のご協力もあり、このコロナ禍の中で“京都！綺麗やわぁ大作戦”を事業としてやり遂げる事が出来ました事、本当に感謝申し上げます。また、残念ながらチャリティーボウリングは中止となりましたがチャリティーボウリング献金として各クラブからたくさんの献金を頂き、京都のワイズメンの気持ちの温かさを知りました。京都部部会・ワイズデーの中止と自粛自粛の1年間の中でほんの少しですが足跡を残せたのではないかと考えております。私自身としては初めて主査という仕事を仰せつかり、いろいろな事を経験させて頂きました。たくさんのクラブから事業参加の依頼を頂き、クリーンワークでは自クラブ以外のメンバーさんとの交流をたくさんする事が出来ました。TOF例会では生まれて初めての長時間スピーチで壇上でのスピーチが1年前より少し上手く話ができるようになりました。なによりも、「的場くん！」と声をかけて頂ける事が増えました。そして私自身、精一杯楽しませて頂いたと自信をもって報告させていただきたいと思っております。

本当に1年間ありがとうございました。



主
題

古き力を礎に若き力を！

EMC 事業主査

坂口 祐司

京都 ZERO ワイズメンズクラブ

コロナで始まり、コロナで終わる一年間。

先日最後の京都部役員会で京都部部长よりあったお言葉でした。

まさにその通りの一年間であったと感じております。

部長公式訪問の中止、各クラブの皆様もリアルでの例会の中止等、ワイズ活動自体の活動方法をどうすべきか色々試行錯誤され、実行されたかと思えます。そんな中京都部メンバー数は最終的にメンバー数増加という素晴らしい結果に終わって喜ばしく思います。私自身も何度か入会式に呼んで頂き、こんな時期だからこそ各クラブの皆様が工夫を凝らしてメンバー候補の方にワイズの魅力を伝え、入会式を迎えておられる事が非常に勉強になりました。今まで通りのワイズ活動が出来ない状況だからこそ、どうやってワイズメンズクラブを知ってもらうか、そしてその魅力を知ってもらうか、各クラブの熱量が手に取る様に感じました。その熱量をクラブの垣根を越えて共有する事もこれから先、「ニューノーマル」と呼ばれる環境下で必要になってくることかもしれません。1年間、何が出来たかという、不完全燃焼の1年間でした。次期の京都部、そして各クラブの皆様がコロナに負けず、よりワイズメンズクラブが盛り上がればと思っております。1年間ありがとうございました。

■今期を終えて 事業主査



主題

交流はワイズの醍醐味！

国際・交流事業主査

牧野 万里子

京都ウエストワイズメンズクラブ

世界中でコロナウィルスは感染拡大がとどまることを知らない状況の中、交流事業はどうあるべきなのか、事業そのものが継続できるのか、不安な気持ちでのスタートでした。

そのような中、まず7月にトゥービークラブさんから IBC 締結先とのオンライン（ZOOM）交流会の報告書が届きました。

この当時はまだオンラインでの IBC 交流会を開催しているクラブは少なく、とても画期的な交流のスタイルと写真のメンバーの笑顔に勇気づけられました。そして京都クラブさんでは新しい DBC 先のエリアを台北とし、締結先のクラブを検討されているという報告をいただきました。国際でも画期的な動きがありました。ネパールのルンビニクラブさんが締結先として日本のクラブを探しているというニュースが届きました。その後北九州クラブさんと ZOOM で交流を図りながら、何と、5月29日に ZOOM で IBC 締結を行われました。京都部の各クラブからも、ブリテンを通じての交流、ファンド事業を兼ねてのクラブ内でのレクリエーション、DBC 先の部会訪問、工夫を凝らしたクリスマスカードの交換などの報告をいただきました。第1回目の評議会で、各クラブの会長様に「交流を諦めないでください。」とお願いしたことを思い出しますが、交流をあきらめるどころか、新しい交流様式を考え、今まで以上に充実した交流事業を行っていただけたと思います。ワイズメンの友情を大切にする思いは、いかなる状況でも変わることはない、この繋がりの素晴らしさを改めて実感する一年でした。

どんな時でも交流はワイズの醍醐味！

皆様、この一年間本当にありがとうございました。



主題

「和・輪・笑」

～和みを持って輪をつくり笑顔になりましょう!～

メネット事業主査

中村 典子

京都ウェルワイズメンズクラブ

今期、京都部メネット事業主査として1年間活動させていただきました。主題を「和・輪・笑」とし交流を一番に考えておりましたが、コロナ禍によりメネットの皆様とは勿論の事、メンの皆様とも中々お逢いする事が難しい1年になってしまいました。メネットアワーの開催も断念する事になりましたが、皆様の健康、命を守る上では必要な措置だったと思っております。メネット献金につきましては、例年とは異なり京都部で取りまとめさせていただき京都 YMCA の子ども達の為のキャンプ事業へと寄付をしたいとの思いに多くのクラブ様よりご賛同頂き、大変感謝申し上げます。数名の子ども達が1つのテントでキャンプを行うのはコロナ感染のリスクも大きく危険な為、1人用のテントの購入を熱望されていた YMCA に協力出来た事が、参加する子ども達が少しでも安心して野外活動を楽しめる事に繋がり、大変嬉しく思っております。メネット事業に関して西日本区の方でも色々なご意見があり、今後どのような活動方法が良いのか話し合われているようですが、メンのご協力の元、例会等にメネットの皆様の参加が増える事を第一に考えて頂きたいと思っております。

拙い主査でありましたが、1年間お付き合い頂き、皆様本当に有難うございました。



■今期を終えて 事業主査



主 題 出会いから始まるワイズの輪。 楽しみを伝えよう！

一年間、大変お世話になりました。

初めて中村部長からお声かけいただき、PR委員長を務めさせていただき、何が出来るかわからないまま、あっという間の一年間でした。コロナ禍という中で、何度も緊急事態制限となり、企画したイベントや例会がことごとく延期や中止となり、各クラブの役員の皆様も大変ご苦労された事と思います。

京都部としても、京都部会やワイズデーが中止となり、PR委員会としても広報活動を行う事もなく、何を行って行くべきか？大いに悩みました。京都部ホームページでは、評議会や役員会の議事録を始め、部報や部長レター、今年に限っては部長公式訪問も中止となりましたので、それに代わるビデオレターを掲載、各事業主査報告書の中で、各クラブの行われた事業報告が紹介されています。また、SNSの活用も行ってきました。多くのクラブがFacebookページでクラブの活動を紹介されています。多くの人数が集まる事の許されない中、工夫されて実現されているそれぞれの企画がよく伝わってきました。YMCAの事業についてもFacebookを通じて、京都部事務局長からのメーリングリストにてご案内が届いたかと思いますが、それらも多くが中止となり残念な限りです。次期は、中村部長が今期に続いて京都部部長を継続されます。私も、少しでもお役に立てるように引き続き、お手伝いさせていただく所存です。

各クラブの皆様にもご協力いただき、多くの広報活動を行う為にも、各事業主査へ出来る限り多くの事業報告を行っていただきますよう、お願い申し上げます。一年間、ありがとうございました。

PR委員長

近藤 敦无

京都東稜ワイズメンズクラブ



■評議会風景



■今期を終えて 各クラブ会長



主題 「未来に繋がる形作りを」

京都ワイズメンズクラブ
会長 坂口 大輔

今期、京都ワイズメンズクラブ第73代会長をさせていただきました。就任当初は不安と戸惑いばかりでしたが、クラブの先輩やワイズに繋がる各関係者から多大なるご協力とご指導を賜り、なんとか1年間を終えることができました。今回、会長という立場から感じたことは、これまで以上に、京都クラブの組織の在り方、クラブの諸事業の重要性、ワイズメンの繋がり、絆を再認識した1年間でした。この1年間で特に印象に残ったことが1つあります。今年6月に開催された西日本区大会です。西日本区の各部の代議員会やバナーセレモニー等に初めて参加し、コロナ禍にもかかわらず会場に集ったワイズメンの他、リモートにも沢山のワイズメンが参加され、全国にこんなにも大勢のワイズメンがいるのだと驚愕を受けました。去年に引き続き、今年もコロナウイルスの影響でクラブ活動が停止し、メンバーとも連絡が疎遠になり、大変困りましたが、リモート会議やSNSを通じて、メンバー間の繋がりの大切さを感じたことともに、このような状況下でも新しい入会者を迎え入れることができ喜びでしたが、また一方では転勤などで退会した方や、お亡くなりになった方に甘えていた自分がいることにも気づけました。来期はコロナ感染も落ち着いて通常通りの活動ができればと、切に願っております。1年間大変お世話になりました。



主題 『誇れる未来創り』
”Pride of creating the future”

副題 「楽しみ」をつくろう

京都パレスワイズメンズクラブ
会長 吉岡 幸次

異例の二ヶ月遅れの9月から始まった50期は昨年から引き続き最後までコロナウイルスに悩まされる一年でメンバーの安全を第一に考えた上でどれだけ楽しみを作れるかが課題となる一年でした。期初に予定しておりました例会やイベントは結果緊急事態宣言や蔓延防止措置の影響でほとんどが中止となりましたが、最初から中止と決定はせず、開催を目標とし準備や対策を委員会等で会議して参りました。結果中止になる事が多かったですが、こういった努力は決して無駄にはなっておらず、いろんな意味で勉強させてもらえたように思っております。各委員会におきましてはコロナ禍の影響によりこれまでの活動とは異り、集まるのも難しい中、何か出来ないかと知恵を絞り努力していただきました。50期会長を指名受けてから二年以上の間、私を支えて頂いたメンバーには心から感謝しております。今期主題に挙げております「誇れる未来創り」に関しましては、将来のクラブ繁栄や発展につながる事業として、京都ブライトンホテルから京都ホテルオークラへの例会場の移設や、象繁殖プロジェクトスポンサー協力し動物園の未来の夢に貢献。50周年記念アクトも前進させ、夢が膨らむ事業が少しずつですが進められたと思います。



私の人生にとってかけがえのない経験をさせていただき有難うございます。正直、まだまだ思うようにやれずに不完全燃焼的な事が残っておりますので、引き続きクラブ繁栄と発展に尽力していきたいと思っております。

皆さん有難うございました！

そして今後ともよろしくお願致します！

■今期を終えて 各クラブ会長



主題

万能一心

副題

try one's best
(最善を尽くす)

京都ウエストワイズメンズクラブ
会長 佐治 幹生



今期は、気が付けば残り数か月になり、ビックリする次第です。今期は、言うまでもなくコロナ禍の1年間でしたが、ウエストクラブでは6月～9月まで、自粛期間とし、10月にキックオフ例会を開催致しました。コロナ禍の中、有難い事に10月から3か月連続で新しいメンバーも増え2月には、延期になっていた40周年記念例会も開催する事が出来ました。40周年記念例会では、クラブとしてのサブライズも大成功をして、メンバーの結束力?も面白かったです。今期、クラブでは新しい事業へのチャレンジや、新しい取り組みを致しました。ブリテンでは、「ワイズを知り友を知り自己を知る」をテーマに、Webで発行する事により、各クラブへの配布が手軽にもなり、色んな方にも見て頂ける機会が増え、HPには、メンバーの紹介動画をUPし、メンバーの事も今まで以上にわかりあえました。CS事業では、成人式・卒業式袴サポートを新しい事業のスタートを致しました。この時は、新成人として成長された姿には感動し本当に嬉しく思える事業でした。他にWeek4wast(クリーンキャンペーン)にも沢山のメンバーが参加致しました。EMCでも、クラブ独自でゴルフコンペを開催し、メンバーよりも多くのゲストの参加で、ウエストクラブを知って頂き、今後の新入会員獲得にも繋がる事業が出来ました。今期は、本当に悩まされる状況の中、各事業委員長はじめメンバー皆さんが、出来る事を精一杯する!という事で、沢山の「愛」を感じた1年間でした。そして11月例会の挨拶時から、ずっと言い続けていた、ウエストクラブとして西日本区で最優秀クラブ賞を目指し、活動を楽しみ皆で、達成感を味わいたい!をテーマに一人一人がクラブ活動に参加し試行錯誤して頂いた結果、ウエストクラブとして数十年ぶりに受賞する事が出来ました。この期に、たまたま会長をさせて頂き、大変貴重な経験をさせて頂いたメンバーに感謝するとともに、自分自身もウエストクラブ、ワイズメンとして、学び吸収しワイズの発展に努めていきますので、これからもよろしくお願い申し上げます。



主題

Everyday is a Challenge!

副題

～やれるだけ、やりきる!～

京都めいぷるワイズメンズクラブ
会長 藤井 功輔



めいぷるクラブの下半期ですが、1～3月と例会をはじめとする対面の活動を全て中止と致しました。三役会はZOOMによる会議とし、役員会はアジェンダをメール送信し、持ち回りでの審議という形で行いました。4月第1例会はEMCファミリー例会として、高台寺の拝観と、少し歩いたところにあるレストランひらまつ高台寺さんにお邪魔し、昼食を頂きました。桜の見ごろが早く過ぎ去ってしまったため、お花見はできませんでしたが、レストランからは八坂の塔や東山の街並みを一望できる素晴らしい景色で、長く対面での交流を中止としていたこともあり、参加されたメンバーには楽しい時間を過ごして頂けたのではないかと思います。4月第2例会はまさかの緊急事態宣言翌日の開催となりました。例会を中止するかどうかの判断で本当に迷いましたが、①食事時間をなくし、代わりに持ち帰りのできるお弁当を用意する、②通常2時間の例会時間を19:00～20:00の1時間とする。という新たな例会の開催方法を試験的に取り入れたいと考えておりましたので、半ば強行するような形で例会を開催することとなりました。メンバーには大変ご心配をおかけしたと思いますが、ホテル側のご協力も頂きながら無事に終えることができました。5月第2例会も同様に会食時間を省き、時間短縮を行いながらのホテル例会を計画しております。今期も残すところあと1年半となりました。本当に大変な中での1年間となりましたが、無事今期を終えられるよう、緊張感をもって取り組んでいきたいと考えております。

■今期を終えて 各クラブ会長



主題

～伝えよう感謝 喜び
そして悲しみも～

京都キャピタルワイズメンズクラブ
会長 五十嵐 由紀

岡本尚男さんを失った悲しみを皆で分かち合いながら始まった今期は、幡南Yサ主査を筆頭にYMCAのサポートを行うことにより、コロナの影響で減少した☒メンバー間の交流も☒られ、金原西日本区事務局員を輩出させていただいたことで西日本区の情報を身近に感じられた1年だったと思います。振り返ってみれば最初はぎこちなかったリモートでの会議や例会もスムーズに開催できるようになり、またDBC先の東京クラブ様のオンライン例会に参加し新たな交流の形を見出したり、近年の課題だったジャガイモファンドの荷下ろしの場所変更や目標額などコロナに負けず事業計画を達成できたこともたくさんあります。広報を見据えたホームページリニューアルやフェイスブック開設準備、そしてこのような時期でありながらも2名の新入会員さんをお迎えすることもできましたし、国際協会(兼京都部CS)のプログラムにも初めて参加することもできました。楽しんでいた☒他クラブ会長との交流がほとんどできなかったことは残念ですが、クラブ運営については私なりに精一杯の力を出せたと思うので、後悔はありません。また先日開催された西日本区大会では栄えある「プリテン最優秀クラブ賞」をいただくこともでき、天国の岡本さんへ素敵な贈り物ができたとメンバー一同喜んでいました。次期もまだまだコロナの影響が続くと思われそうですが、お互いの立場を思いやりながら交流を絶やさず、更には自分たち以上に困っている方々へ支援ができるよう強くなっていきたいと思っています。1年間ありがとうございました！



主題

より強い絆で

副題

～仲間って本当に
いいものですね～

京都プリンスワイズメンズクラブ
会長 澤田 哲平

昨年7月に会長へ就任し、早くも1年が経ちました。今期、初めての会長職を振り返ると、クラブの活動もままならない、大変難しい1年であったと感じています。「より強い絆」を主題とした今期ですが、期が始まる数ヶ月前には突入していた「コロナ渦」において、メンバー間の絆を大切にしたいという思いを込めた主題です。

例年、サバエワークからスタートするプリンスクラブの例会は、早くもこの「コロナ渦」という事態に直面し、通年行ってきた活動もやるべきか、中止すべきか、常にギリギリの判断の連続でした。プリンスクラブでは、病院に勤められるメンバーがおり、例会開催についてのガイドライン「感染症対策マニュアル」を早くに作成し、可能な限り安全な例会運営に努め、また京都府が定める基準を参考に、ホテルでの例会、もしくはZOOMを利用した開催を常に判断してきました。メンバー間の親睦も行にくい期ではありましたが、1年間会長職をなんとか全うできたのは、三役、役員をはじめメンバーの皆さん全員に支えられたから。自分自身、ワイズというものを越え、人生の財産になったことは間違いありません。

このような期ではありましたが、前期から引き続き、地域医療を支えてくださっている京都府立医科大学付属病院・京都市立病院の医師、看護師の皆様への感謝としてチョコレートを贈呈し、大変喜んでいただけたことは、大変印象深い活動でした。

プリンスクラブでは次期、35周年を迎えます。今期その準備もままならずスムーズにバトンタッチをできなかったことは心残りですが、次期、飯尾会長のもと、会長として得た経験を糧にクラブへ貢献してまいります。

最後になりましたが、1年間、ありがとうございました。皆様へ厚く感謝を申し上げます。

■今期を終えて 各クラブ会長



主題 Let's have fun!

副題 楽しかったと思えるクラブ運営を!

京都センチュリーワイズメンズクラブ
会長 山崎 育男

2020年3月に東京オリンピックの開催延期決定、4月には主要都市の第1回緊急事態宣言が発令され、コロナ禍の状況の中で2020-2021年度のスタートとなりました。また前期末これまで色々とお教えを頂いたワイズ歴大先輩も1名退会されショックを受けました、1年後はワイズが楽しかったと言えるように主題としていましたが、残念ながら楽しみにしていた各種事業は殆ど中止となり、クラブ内事業計画もあまり進まず、こんな年度は初めての経験です。会長職は今期で退任しますが、コロナもワクチン接種により次期はこれ迄通りの事業が出来、楽しいクラブ運営が出来るようにと思っています。

●活動報告

6月	21日(日)第1回評議会出席【Web】、 28日(日)リトセン夏季準備ワーク参加	12月	1日(火)役員会開催、19日(土)12月クリスマス例会開催
7月	7日(火)役員会開催、16日(木)7月例会開催【会長引継ぎ式・総会】	1月	12日(火)役員会開催【Web】
8月	4日(火)役員会開催	2月	2日(火)役員会開催【Web】、7日(日)第3回評議会出席【Web】
9月	1日(火)役員会開催、6日(日)リトセン秋季準備ワーク参加 13日(日)第2回評議会出席【Web】、17日(木)9月例会開催	3月	2日(火)役員会開催、6日(土)次期会長・主査研修会参加【Web】 14日(日)卒業リーダー祝会出席、18日(木)3月例会開催
10月	6日(火)役員会開催、15日(木)10月例会開催	4月	6日(火)役員会開催【Web】、15日(木)4月例会開催中止
11月	10日(火)役員会開催、15日(日)リトセンオータムフェスタ参加 19日(木)11月例会開催	5月	11日(火)役員会開催【Web】、20日(木)5月例会開催中止
		6月	1日(火)役員会開催【Web】、5～6日(土日)西日本区大会参加【Web】



主題 みんなが会長

副題 奉仕クラブは誰のため

京都ウイングワイズメンズクラブ
会長 天根 静也



今期は前期に続いて活動にいろいろ制約のかかる1年となりました。私自身は「いやそのうち収束に向かうだろう」とちょっと楽観的にとらえすぎてしまっていたこともあり、今思い返せば「もうちょっとこの時期だからこそできることがあったのではないかなあ」というのが今の感想です。しかし、会則の見直しができたり、メンバーの意見交換の機会が増えたりと地味ですが大切なことができた1年ではあったと思います。「みんなが会長」という主題を掲げさせていただきましたが、やはり私自身が会長として決断しないといけない皆さんの場面に直面し、会長としての責任の重要さをひしひしと感じました。そして私を支えてくださった多くのメンバーの協力にとっても感謝しています。会長になって初めて「自分のワイズライフ」という視点ではなく、「自分のクラブ」という視点で世界を眺めることができました。会長という肩書があったから他クラブの皆さんとの交流が進むと思っていましたが、そんなことはなく、会長だろうがなんだろうがワイズメンはオープンで自ら動くものに道が開かれているということがよく分かりました。自分のクラブにいろんな新しい風を送るためにも今まで以上に積極的に他クラブさんとも交流を深め、充実したワイズライフを送っていきたくと思っています。最後に私事です。娘が今年YMCAのリーダーになりました。4年間頑張って続けて欲しいなと思っています。

■今期を終えて 各クラブ会長



主題 この身を捧げ尽くさん

副題 ～共に奉仕する喜び～

京都洛中ワイズメンズクラブ
会長 山内 和生

3度目の会長となった今期は、過去経験したことのない一年となりました。

下半期も例会や行事の殆どが中止となり、メンバーの皆さんと顔を合
わす機会が減りました。ただ、3月にDBCクラブの富士五湖クラブのメン
バーが京都へ訪問して下さり、楽しい交流例会が開催出来たこと

は、良い思い出となりました。地域奉仕事業として、児童養護施設つばさ園の園児達とのふれあいの場を、何度も企画検討しましたが、
最後まで出来なかったのが大変残念でなりません。

この一年も、新型コロナウイルスの影響で消化不良で終わってしまったが、もうすぐ雲が抜け来期は晴天となることを祈り、サポート役として、また頑張ります。



主題 楽しもう！奉仕の繋がり

副題 義
(人の行いが道徳・倫理にかなっていること)

京都エイブルワイズメンズクラブ
会長 山根 拓也

この一年を振り返って本当に新型コロナに始まり新型コロナに終わるような気が
します。エイブルクラブは、宇治市を中心に奉仕活動をしていますが、高齢のメン
バーが多く、コロナに対して神経質になっていますし、ZOOMでの例会開催も出来
ない状態でした。支援先のイベントも全て中止になり、CS活動の少年少女サッ
カー大会も開催中止に今期クラブ例会も5回しか開催出来ずに一年が終わりそう
ですが、最近になってコロナワクチンの接種も進む様で少し安心して来季は例会
が開催できる様になると思います。さびしい事に新型コロナの影響で、退会者が1
名でまして、残念な思いです。今期は殆どの奉仕活動ができずにメンバー皆さんと
のコミュニケーションもままならずこのままではメンバーの奉仕活動に対しての熱
意が下がるのかと心配しましたが、6月29日の引き継ぎ、総括例会には参加者が多いので来季のアフターコロナと言える時には安心して奉仕活動出来る事と思います。ワイズメンズクラブ京都部の皆様も2年連続のお世話になりますが、来季も宜しく
お願い致します。



■今期を終えて 各クラブ会長



主題 友と共にチャレンジしよう!

副題 Smiling forever
～ずっと笑顔で～

京都グローバルワイズメンズクラブ
会長 島倉 泰三



打倒コロナウィルス！今期は最初から最後までコロナウィルスとの戦いでした。

一年前【絶対にクラブから感染者を出さない】ために、どうすれば良いのか。

しっかりと感染対策をしながら、安心安全なクラブ運営は出来るのか、メンバーに楽しいクラブライフを過ごしてもらえるだろうか。例年とは大きく違う年間計画を見直すところから始まりました。幸いキックオフ例会は何とか開催にこぎつけましたが、第二波、第三波と感染者が増えるに伴って、繰り返し緊急事態宣言は発令され、その度に例会と事業は中止を余儀なくされました。そんな中、ブラザークラブである宇都宮クラブのクリスマス例会と熊本クラブの新春放談会にZOOM参加の機会を得ました。我々も、ZOOM例会は出来ないだろうか？と役員会で話し合いました。これだけの大所帯で成功するだろうか？まったく新しい取り組みに不安は過りましたが、やってみなければわからない！賛否両論ありましたがクラブ活動を止めたくない思いで、チャレンジする事を選びました。思わぬところで、今期の主題【友と共にチャレンジしよう】が実現できたのかもしれない。

クラブのメンバーには、この一年間の事業運営にあたり、コロナ禍の厳しい状況において様々に知恵を絞って尽力くださり、特に献金には直接お願いする機会がない中でも予想を大きく上回るお力添えをいただいた当クラブメンバーにもこの場を借りて心から感謝申し上げます。1日も早くコロナが終息しワイズメンが握手しあえる日を切に願います。

最後に中村部長をはじめ京都部の方々には大変お世話になりました。有難うございました！



主題 崖プチ

副題 悪あがき

京都みやびワイズメンズクラブ
会長 奥谷 彰宏



今期を振り返り、コロナウィルスにより、何度も出された緊急事態宣言や蔓延防止対策等の自粛に伴い、クラブ活動の停止を余儀なくされてしまい、何も出来ない、してはいけない期になってしまいました。

全ての人にワクチン接種が行われ、元の社会に戻りクラブ活動ができる事を祈るばかりです。

■今期を終えて 各クラブ会長



主題

心即太陽

副題

熱い心で、リーダーシップを
発輝しよう。

京都トップスワイズメンズクラブ
会長 清水 寿和



京都部の皆様、いつも大変お世話になっております。1年間お世話になりありがとうございました。さて、トップスクラブは来期の西日本区理事輩出クラブとしてメンバー全員のリーダーシップ力を高めるために活動してきました。例会開催が困難な中、ハイブリッド例会やzoom例会等あらゆる方法を駆使して毎月例会を開催することに成功致しました。しかし、各事業は中止や延期を余儀なくされ100%目標が達成できたとは言い難い状況です。困難な状況の中で出来る事をやろうという方針転換の下に、メンバーの求心力を保ちながら一年間活動してきました。特に力を入れたのは、献血活動です。リアルでの奉仕活動ができない中、今やれることは何か、コロナ禍でも出来る奉仕活動、コロナ禍で血液が不足している等を考慮して1年間やり続けた結果、凄い貢献が出来ました。延べ人数で32名献血しました。そして1月半期総会において、7月より議論してきましたエクステンションについて、新クラブ設立準備委員会を立ち上げるという形で承認をとることが出来ました。ワイズ100周年をゴール地点において新クラブを設立する予定です。EMC活動がコロナ禍で一番影響を受けたと思います。新入会員獲得に向けたゲスト例会ができずに大きく目標を下回った結果となりました。来期に向けて必ず挽回したいと思います。

最後になりますが、トップスクラブは次期理事輩出クラブとして、西日本区大会ホストクラブとして皆様の先頭に立って牽引していく所存でございます。京都部のメンバーの皆様におかれましては多々ご協力お願いすることになるとは思います。ごなにとぞよろしくお願いいたします。



主題

Let's TRY

副題

～基本を忘れず、
いろんな事に挑戦しよう～

京都トゥービーワイズメンズクラブ
会長 馬場 昭宏



一年間を振り返り、思うのはやはりコロナに振り回された一年だったと感じます。始まりは、役員研修会が開催できるのか？から始まり、第一回目の緊急事態宣言が始まったことにより、例会の開催が出来なくなりました。それでも、ZOOMというツールが広まっていき、オンラインでの例会風の集まりを開催することが出来ました。ただ、リモートが出来ようになり、普段遠くて行き来が少ない、台湾A-Listクラブとのオンライン交流をすることが出来ました。国内では期初よりYMCAの事業が軒並み中止となり、Yサ事業も出来ない中、緊急事態宣言明けに開催された、リトセンオータムフェスタではいつもよりメンバーの集まりがよかったように思います。結果的には下半期でも事業中止が相次ぎオータムフェスタが唯一のYサ事業となりました。例会開催はといえば、感染対策も出来るようになり、9月後半より通常開催となりました。ただ、年が開けてから、全国の新規感染者数が増えたことにより、時短や食事なしの例会も増えました。CS事業では、3月に支援先のクリーンアップを行えました。メンバーに加えCS主査にも来ていただき広範囲の作業が出来ました。EMCでは、ゲストを呼ぶこともままならない状況でしたが、嬉しいことに1名の新メンバーが加わりました。今年一年はコロナにより、例会含め事業をやるのかやらないのか常に判断に迫られた一年だったように感じます。その中でも最後に、アルコール、食事なしとなってしまいましたが、西日本区大会を開催することが出来たことは大変良かったと思います。年に一度の交流の場ということもあり、リモートでも対応したことで、大変多くの皆様に参加していただくことが出来ました。至らない部分も沢山ありましたが、無事終わることが出来ました。一年間ありがとうございました。

■今期を終えて 各クラブ会長



主題
副題

ソースル パーソ
「a thoughtful person」

思いやりの心で楽しむ活動を

京都東稜ワイズメンズクラブ
会長代理 奥村 昭次



東稜クラブ今期会長代理の奥村昭次です。

東稜クラブの今期の活動について報告させていただきます。

我がクラブでは6月～12月の上半期の活動を実質的に停止いたしました。

新型コロナ感染の防止とメンバーの生活、仕事を最優先にという考えからの判断です。

1月からは主にZOOMを活用して例会、運営会議等を行いました。が年間通して我がクラブが永年行ってきた地域のクリーン活動だけは継続して行いました。数少ない顔を合わせられる場として活動を続けた事の意味は非常に大きかったと思います。ただ残念なことに今期、数名の退会者が出てまいりました。慣れない環境の中でコミュニケーション不足を感じる場面も多々ありました。それが原因かは分かりませんがやはり残念の一言です。そのような事も有り今期は各メンバーが東稜クラブについて一番考えた一年ではなかったかと思えます。当たり前のように行ってきたことが出来ない中で今後自分自身がどのようにクラブ活動を行っていくのか改めてその存在を再認識出来たのではないのでしょうか？一時的にメンバーは減少しましたが引き続き次期に向けて進んでいきたいと思えます。

仕事に、家庭に、クラブにすべてにおいて「相手を思いやる心」を大切に活動したいと思えます。以上



主題
副題

自他共栄

～心と心でふれ会おう！～

京都ウェルワイズメンズクラブ
会長 中村 典子



今期、ウェルクラブ第17代会長を拝命しておりました中村典子です。活動としてはほとんどの例会をzoom、会食無し、野外等で開催出来た事、各委員長、メンバーの皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

又、部長輩出クラブとして、今期は京都部会の開催を断念しましたが、次期には何とか開催したいとの思いで2年半越しの委員会も継続して行っております。Yサ事業に関しましては、色々な事業が中止となり、中でも1番力を入れている「青い空と白い雲のキャンプ」が中止になった事は残念で仕方ありませんでした。CS事業については、京都動物愛護センターの花壇の整備や花の植え替えも計画通り行う事が出来ました。クリーン例会も2回行い、京都YMCAから三条大橋までの間をウェルとYMCAの旗を掲げ、田栗ワイズ扮するサンタクロースを先頭にアピールも含めてお掃除する事が出来ました。京都動物愛護センターチャリティーゴルフには46名もの皆様にご参加頂きました事、感謝申し上げます。ファンド事業では委員長の「月1ファンド」の目標を達成出来、メンバーの皆様のアイデアで新しいファンド商品にもチャレンジし次期へと繋ぐ事が出来ました。新メンバーの入会もあり、若い勢いのある力に期待が膨らんでおります。これからもまだまだコロナとの付き合いが続くと思われますが、新しい形の例会や事業等、メンバー全員で楽しむ事を忘れずに行っていく事を次期に引き継いで今期の締めとさせていただきます。

■今期を終えて 各クラブ会長



主題

「人」

京都 ZERO ワイズメンズクラブ
会長 山田 維久仁



今期我がZEROクラブの10周年を記念するにあたり会長を務めさせて頂き、まず初めに申し上げたいのは「皆様一年間本当にありがとうございました！」です。前期末の2020年4～6月は新型コロナ

による緊急事態宣言が初めて発令され、過去にない事態に例会も事業も全てが中止され、その最中の7月からのキックオフとなりました。当初、いつまで続くか分からない混乱した状況の中で、会費の負担を減らし、月2回開催していた例会を一時的に1回とし、慣れないZOOMを活用したり…その中にあっても如何にメンバーの皆様へ元気を発信出来るか、心の支えとなれるかを考えながらスタート致しました。私の掲げた主題は「人」。コロナ禍でテンションも下がる中、メンバーとの交流の中で少しでも皆様が笑い、心が休まればと言う思いでいっぱいだったように思います。この10年で積立ててきたファンド資金により、10周年記念ACTとして笠取のリトリートセンターに建築中のZEROキャビンの存在も大きかったと思います。宮越ACT委員長の呼び掛けにより、毎月の様にメンバーが集いコツコツと日頃やることのない釘打ちや塗装、外構工事など、ワイワイ楽しむことが出来ました。屋外と言うこともあり、綺麗な空気のおかげで、例会も3回出来ましたしね(笑)コロナ禍で大変なはずが、各委員会が工夫し、あくまで前向きに事業を考えて頂き、今までにないコミュニケーションの取れた一年になったように思います。

結果、ノンドロップどころか新しいメンバーも3人増え、ますます盛り上がる事が出来ました。

ゴルフ好きメンバーが増えて来ているのも有り難かったです。今まで1組作れるかどうかだったのに、急に3組くらいは集まるようになりました。今期からゴルフ同好会を発足し、2回のゴルフコンペも開催出来ました。交流にはゴルフが一番ですからね！

何はともあれ、無事一年を終える事が出来ました。冒頭にも申し上げましたが、コロナ禍でメンバーの皆様大変苦しい状況ではございましたが、その中にあってもメンバー全員が議論し、努力があったからこそその盛り上がりとなったと思います。

本当に一年間本当にありがとうございました！

仕事に、家庭に、クラブにすべてにおいて「相手を思いやる心」を大切に活動したいと思います。以上



主題

Begin Again

副題

今できることを一つずつ

北京都フロンティアワイズメンズクラブ
会長 足立 徳仁



今期は新型コロナウイルス感染症過のクラブ運営となりましたが、期初は京都府北部では感染者が少なく、7月より通常の例会運営を進めて参りました。7月の総会をスタートとして、8月例会では新たに3名の新入会員を迎え幸先の良いスタートを切りました。10月例会では京都キャピタルクラブより大門ワイズにお越し頂き、学童野球の指導者をゲストに招いた例会を行いました。11月には新たに1名の仲間を迎え、今年度のフロンティアクラブのメインイベント、5周年の記念事業「YMC A杯学童野球大会」を実施いたしました。初日が雨での順延となり、寒い中での開催となりましたが、舞鶴市内より9チーム150名以上の子供たちに参加いただき、主催した私たちも心から感動する素晴らしい大会となりました。1月以降は緊急事態宣言の発令もあり、webでの例会をおこない新型コロナ

コロナ感染症対策の補助金や助成金、その他の制度の案内をするなど、コロナで苦しむメンバーに向けての情報発信を行いました。今年度はトゥービークラブ様、ウェルクラブ様との合同ZOOM例会を行いました。距離が遠くても交流を図れる新しい可能性を感じる取り組みとまりました。コロナの影響もあり当初考えていた通りの活動とはいきませんでした。多くの皆さま、メンバーの協力のおかげをもちまして一年を無事終えることができました。一年間ありがとうございました。

部会だよ!

今度こそ!

全員!

集合!

第26回

京都部部会

2021年10月10日(日)

ウエスティン都ホテル京都



ホストクラブ
京都ウエルクラブ



ワイズメンズクラブ 国際協会 西日本区 2021~2022年度 京都部



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION  ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
JAPAN WEST